

物流倉庫5S実践プログラム（荷主企業・物流企業共通）

物流倉庫における5Sを定着させるための支援プログラムです。

荷主企業の自社物流現場、物流企業の現場、いずれにも有効な**5S実践プログラム**です。

船井総研ロジのコンサルタントが貴社の物流現場担当者と一緒になって倉庫内の5S実践を支援します。

物流現場の“生産性を上げたい”や“品質を良くしたい”という数多くの企業様からご相談をいただいています。

- ✓いろいろと手を尽くして取り組んではみるものの、結果が出ない
- ✓現場を変えるということは、なかなか簡単なことでない
- ✓計画までは立てているが、実行が捗らない

などと感じられているのではないのでしょうか？

実はこのすべての課題を効率よく確実にクリアするには『5S』を現場に導入することが最も近道となる取り組みなのです。

当プログラムは貴社で①改善実行し②その手法が定着し③効果を発揮し、④さらに改善のPDCAが回ることができるまでの一連のプロセスを、弊社コンサルタントが貴社担当者様と一体となって支援するものです。

物流倉庫の改善のためには現場の異常と正常を見える形にすることが必須です。

5Sは倉庫を綺麗にするだけではありません。

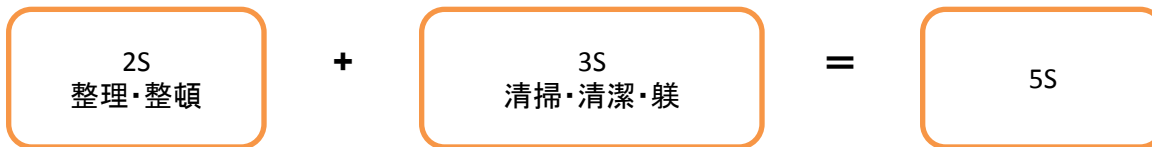
5Sに真剣に取り組むことで、驚くほどの現場改善が実行できます。

《現場でよくみられる課題》

- ・何度取り組んでも5S活動が定着しない
- ・5Sが形骸化している
- ・掃除が雑務になっており、仕事として捉えられていない
- ・掃除の時間が決められていない
- ・商品のステータスは現場の人間に聞かなければわからない
- ・5Sの担当者が不在である
- ・5Sに取り組むことが倉庫担当者の負担になると思っている
- ・担当者が現場のことは全て頭に入っているので表示の必要はないと思っている
- ・現場を変えようとする『でも・・・』という言葉を目にする

船井総研ロジでは5S(整理/整頓/清掃/清潔/躰)を下記のようにとらえています。

《船井総研ロジの考える5Sの体系》



【2S】

整理＝いるものといらないものを区分し、本当に必要な物のみを選別すること
整頓＝必要な物を定位置に置くことでいつでも取り出せる状態にすること

【3S】

清掃＝利用したものを片付け、掃除することで正常な状態にすること
清潔＝清掃された状態を維持すること
躰＝職場で決められたルールや標準手順などの決め事を守り、維持すること

《徹底した5Sが生み出す現場の見える化効果》

5Sを徹底的に取り組むことで、現場が“わかる”ようになります。

現場の“わかる”は下記の5つに分類されます。

5Sメリットの種類	表示の例	見える化効果
I. 分る(区分がわかる)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 通路と保管の表示 ✓ 工程名の表示 ✓ 定位置の表示 	<ul style="list-style-type: none"> • 現場が整然とする • 流れが分る • 正常な状態がわかる • 自然とできてしまう
II. 解る(理解できる)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 作業手順の表示 ✓ 作業要領の表示 ✓ 改善取り組み成果の表示 ✓ トラブル、イレギュラー発生状況の表示 	<ul style="list-style-type: none"> • 作業に迷ったときすぐ確認できる • 熟練者の“カン”や“コツ”を共有する • 改善スキルがわかる • 現場で発生する問題がわかる
III. 判る(管理者が判断する)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 出勤状況(持ち工数)の表示 ✓ 仕事量(必要工数)の表示 ✓ 能率の表示 ✓ 予定と実績の表示 	<ul style="list-style-type: none"> • 持ち工数がわかる • 必要工数がわかる • 工数の過不足がわかる • 作業の進捗がわかる
IV. 判る(作業者が判断する)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ レイアウトの表示 ✓ ロケーションNO.の表示 ✓ 商品NO.の表示 	<ul style="list-style-type: none"> • 作業中に判断しやすくなる • 間違いの発生を抑制する
V. わかる(気づく、注意する)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ マテハン、道具利用上の注意表示 ✓ ドレスコードの表示 ✓ レイアウト上の死角の解消 ✓ 停止位置の表示 ✓ 間違い例の表示 ✓ クレームの表示 	<ul style="list-style-type: none"> • 事故を抑制する • 品質悪化を抑制する • 意識する

《5Sと現場改善の密接な関係①》

現場が“わかる”と『現場改善』は密接な関係があります。

5Sによる整然とした現場、異常が顕在化する現場が継続した改善に取り組むことができる強い現場を作ります。



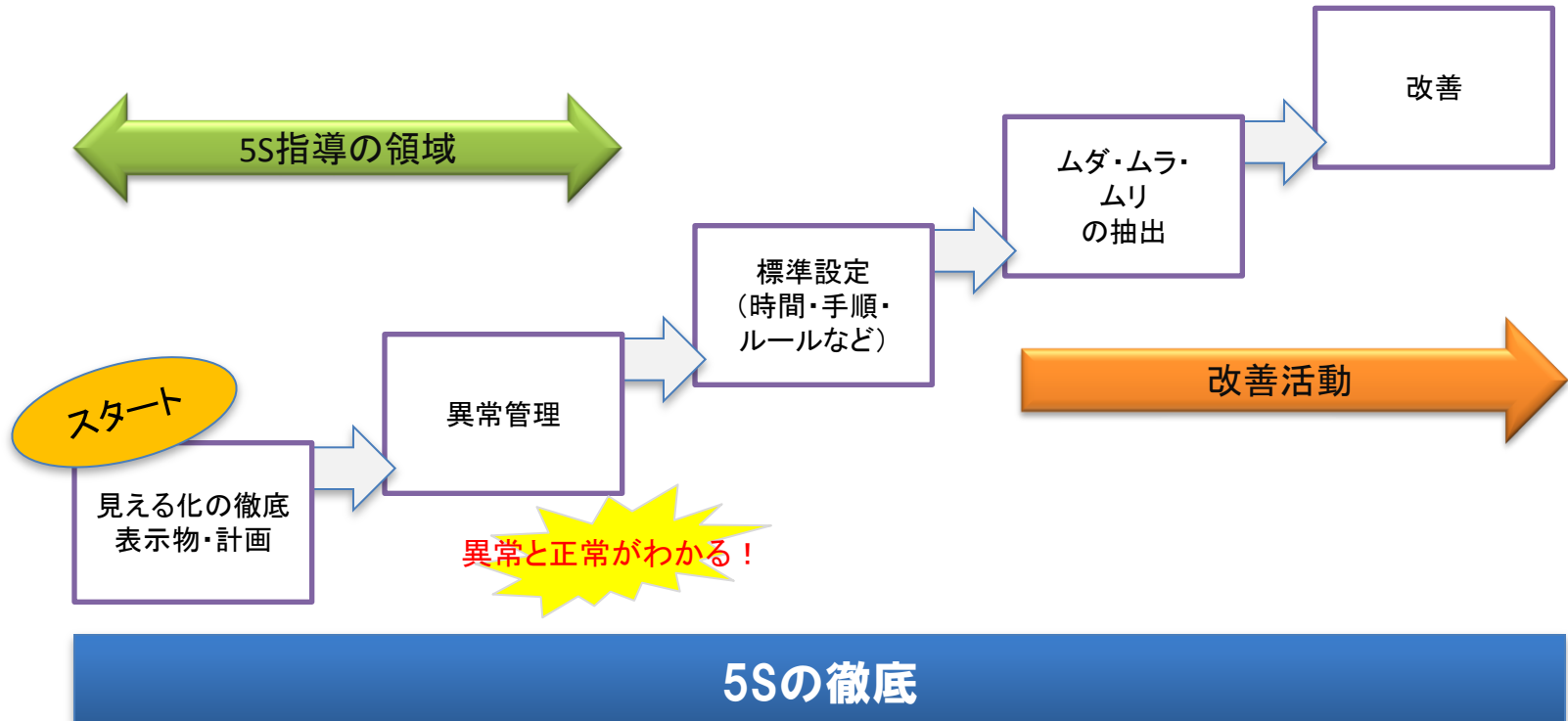
《5Sと現場改善の密接な関係②》

基本的な見える化を徹底することから始めて、異常管理のできる下地（現場体制）を作り上げることが、改善の進む現場です。

物流現場は改善ができなければ収益性を保つことが難しくなります。

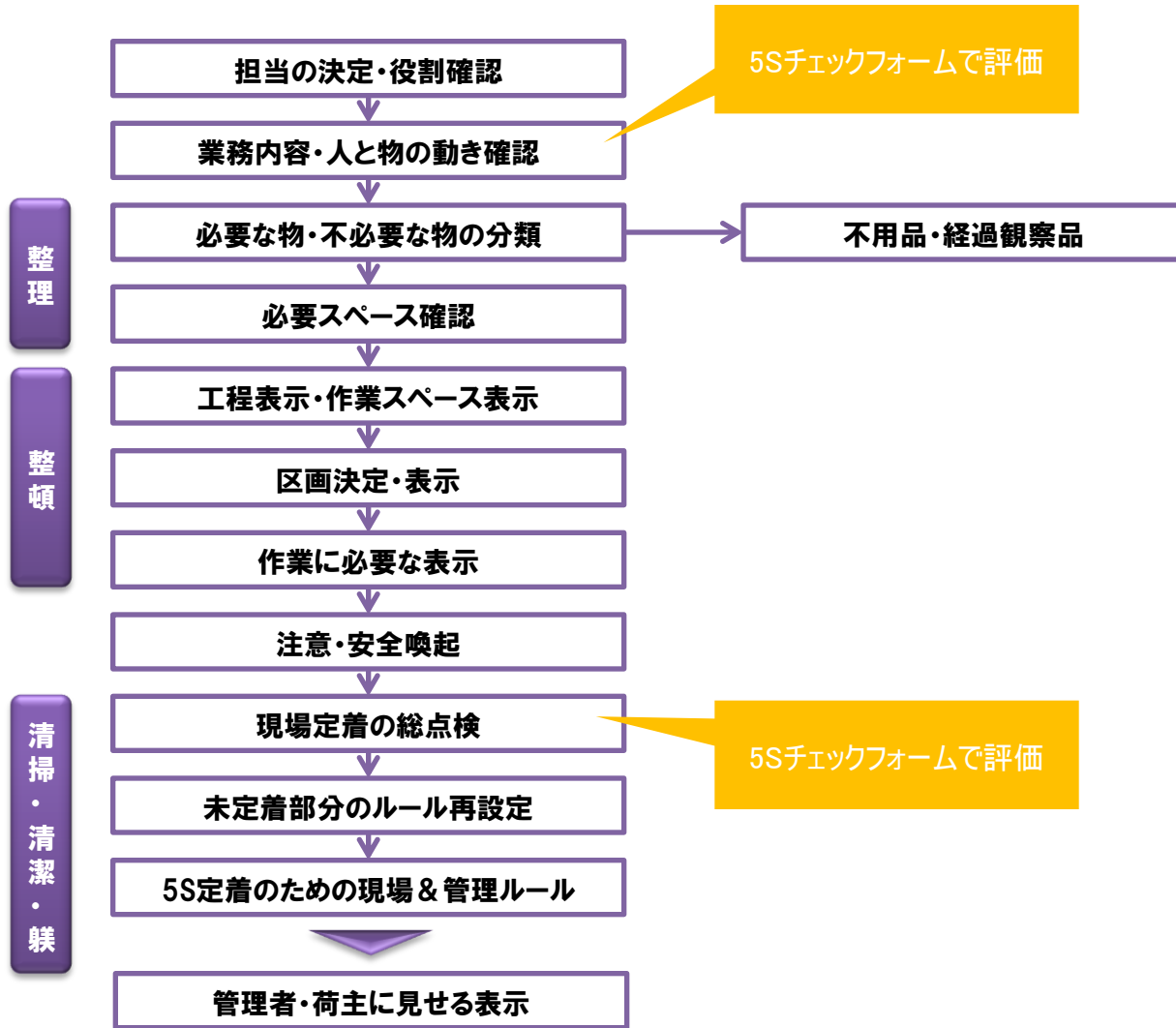
改善のPDCAが回り続ける倉庫現場は荷主企業にとってはコスト競争力となります。

物流企業にとっては他社に負けない『収益体制構築』と現場力を見てもらえる『強力なツール』として大きな力になります。



《物流倉庫5S実践プログラムの実行手順》

『5S』導入は下記のステップを進めながら現場の定着を図ります。



《船井総研ロジの強み》

『5S導入』と『現場改善』における船井総研ロジの強みは下記になります。

幅広い業種業界の事例

船井総研ロジは『ロジスティクス』というキーワードで数多くの企業を支援してきました。多岐にわたる業界、業種のロジスティクス現場の運営・改善ノウハウを蓄積しており、既存体制に囚われない抜本的な検討が可能となります。

物流視点にカスタマイズした5S・改善活動

物流の現場における5Sと現場改善は生産現場のそれとは異なると考えられがちです。

物流の現場は平準化することが困難で、それによる作業の集中が問題になります。船井総研ロジでは現場の改善定着を考慮し、各社の物流現場に合わせた改善手法を実践します。

有効な数値・図式の見える化ツール

物流の現場は管理者や担当者の頭の中にあります。その現場を船井総研ロジがコンサルティングの中で利用してきたツールを貴社現場にカスタマイズし、図式化・数値化します。

図式と詳細数値で見える化することで明確な評価が可能になります。

現場の定着を考えたプログラム

コンサルティングの指導期間は5Sと現場改善は実行できても、それ以降自主的に進めることが困難。という企業も少なくありません。

船井総研ロジでは現場の定着を考慮して担当者に指導します。貴社にノウハウが残る指導が弊社の特徴です。